

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2001.10.15 No. 121 発行／(こどもの城) 広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



HATURATU
はつらつ

小高い丘の中腹には、私たちが学ぶ小学校があります。フェリーボートで20分たらずの大都市オーランドのビル群が窓の外に広がります。眼下の海峡では、世界的に有名なヨットレース、アメリカズカップもよおされるんですよ。
休憩時間になると、校庭で遊ぶのがとっても楽しいの。バスケットボールを追いかけ走り回ると、海風がこころよくふきつけてきます。下級生も上級生もみんながなかよし！ めぐまれた環境でのびのびしていますよ。
(写真・文 平早 勉)

「全国児童館おりがみ作品展」(10月27日～11月18日)

21児童館参加、個性あふれる作品を展示 テーマは“未来”

全国の児童館に集う人たちが作った作品を展示する「全国児童館おりがみ作品展」が、第8回「おりがみカーニバル」にあわせて10月27日～11月18日に(こどもの城)ギャラリーで開かれます。「おりがみカーニバル」では、日本折紙協会のパノラマ作品の展示、親子で折紙を折って遊ぶワークショップ、「おりがみにつよくなる講習会」が行われます。「全国児童館おりがみ作品展」のテーマは「未来」。全国21館から参加申し込みがありました。今月号では、出品作品制作中の静岡市安東児童館と埼玉県の上福岡市児童センターの活動を紹介します。



遊びに来る子どもたちと相談しながら 願いをこめて、少しずつ作り上げる

制作を始めたのは8月に入ってから。8月と9月の「児童館だより」で、「生きているもの全部に、やさしい未来になるように、千羽鶴のように、児童館にくるみんなで、願いをこめて、少しずつ作り上げましょう」と呼びかけました。90cm×90cmの台に、地球をイメージさせるドーム状の土台を作り、あとは遊びに来た子どもたちと相談しながら作り上げていく——という方法。出品するための作品を作るのではなく、日常の活動のなかから自然に作品を作り上げていきます。「なにやっているの?」と興味をもたせることから始めて、次は子どもたちへ語りかけるようにしていききました。「こうすれば」「あすれば」と、新しいアイデアが加わっていきます。

丸い地球からは、3本の透明なアクリルの棒がツノのように飛び出し、先端に透明なセロファン紙で作った大きなツル。羽のなかには紙で作った人がいます。地上には、ペンギン、キリン、ウサギ、インコなどが並んでいます。台の横には、だれも



が、いつでも作れるように、折紙の用紙と折り図が置かれています。子どもたちは気が向いたら、制作途中の作品の横で折紙を折っていきます。小さい子どもはお母さんといっしょ。ぶらっと遊びに来た中学生の男の子も、ひとりで折紙を折りはじめ、そっと飾っていききました。スタッフの齋藤利乃さんは「折紙は、日本の伝統的な遊びとして大切にしなければ、と思っていたんですが、児童館の活動のなかではあまり取り上げてきませんでした。今回、作品を作るにあたって、親子で作る姿をみていて、とてもいいものじゃないかな、と。頭と頭がくっつくようにして作っている。人と人の距離が近くなる。それが、気持ちの距離感も縮めるのか、温かい感じがします。コミュニケーションという大事なものを伝えることができる表現かな、と思いました。タイトルはまだ仮のものですが、大きなツルは宇宙へでいくときの「ノアの方舟」の感じで、宇宙に街を作っていきます」と話します。たくさんの子もたちの思いが込められた「生き物にやさしい地球」(仮)は、どんな作品になるのか楽しみです。

静岡市安東児童館

【静岡市安東児童館】静岡駅の北、約2kmの文教地区の住宅街にあります。平屋建て(約300㎡。敷地約600㎡)で、隣接する公園が児童館と一体となって、広々とした印象を与えています。館長を含め、スタッフは3人。月曜日と第3日曜日、祝日の翌日が休館。開館時間は午前9時～午後5時30分。転勤族が多く、お母さんたちの意識も高く、午前中は幼児とお母さん、学校が終わると小・中学生。周辺の4つぐらいの小学校の子どもたちが利用しています。



上福岡市児童センター(埼玉県)

「はじめはパーツだけ作っていたんですが、全体のイメージが分かったほうがよいと思い、パーツを作りながら空の部分などを作りました。橋を作ったほうがいいのか、という意見もあるので……」と川合さん。制作していくなかで、イメージもひろがっていきます。工作室に置かれている制作途中の台の上で、折ったばかりの折紙で遊ぶ子どももいるそうです。「ごっこ遊びみたいなものも(折紙遊びで)可能なんだなあー、と感じました」と話しています。上福岡市児童センターの折紙活動は、毎月1回行われる「おりがみクラブ」。クラブという名前ですが、決められたメンバーの活動ではなく、遊びに来た子どもたちが自由に参加できるプログラムの会員でもある、ボランティアの森山行子さんが指導にあたっています。「朝顔やあじさいの花を折るとき、大人は朝顔は朝顔、あじさいはあじさいの花を折りますが、子どもたちの手にかかる」と別の花になったりします。顔を書くときにも、(大人には)考えられないものを書いてきます。子どもたちの自由な発想は、勉強になります」と森山さん。折紙の楽しさをしてもらえればと、折り方の基本から丁寧に指導しています。



「未来」からイメージするものは? 平和で、自然ゆたかで、しあわせな……

全国児童館おりがみ作品展のテーマは「未来」。子どもたちに「未来」という言葉からどんなものをイメージするか聞いてみることから始まりました。戦争がない、世界が平和である、まちがきれい、花がいっぱい、緑がいっぱい、しあわせでいること、食べ物がいっぱい——さまざまなイメージが集まりました。「みんなが楽しくくらしていける、身近な“未来”をイメージするようです」と、上福岡市児童センターの川合香子さん。子どもたちのイメージを集めて基本プランを作りました。タイトル(仮)は「平和で、自然ゆたかで、しあわせな未来」。折紙で形になるもの、子どもたちが折れるもので作品を作り上げていきます。緑ゆたかな山、実る畑、色とりどりの花が咲き、空には宇宙船もいっさい、人も生き物も楽しくくらしている——明るく、楽しい作品になりそうです。



「全国児童館おりがみ作品展」参加児童館

- 【壁面作品】大鰐町中央児童館(青森県)、野木町立新橋児童館(栃木県)、金沢市立鞍月児童館(石川県)、長泉町児童館(静岡県)、姫路市立北児童センター(兵庫県)、九重町児童館(大分県)、梶山児童館(宮崎県)、阿久根市立中央児童館、同・大川児童館(鹿児島県)
【立体作品】芝児童センター(埼玉県)、上福岡市児童センター(埼玉県)、金沢市立三和児童館(石川県)、石川県立中央児童館、静岡市安東児童館(静岡県)、東郷町東部児童館(愛知県)、栗東町立治田児童館(滋賀県)、呉市大坪谷児童館(広島県)、春日児童センター(佐賀県)、久保田町児童館(佐賀県)、清武町かのう児童館(宮崎県)、ゆりかご児童館(宮崎県)

スキムマン

スキムミルクのカルシウム

スキムマンといったらなんでぼくたち元気になるの?

それはね、ほくが、「元気のもと」をいっぱいもっているからだよ。

「元気のもと」?

きょうはみんなでボールで遊んでま〜す♡

たとえば みんなの骨や歯を じょうぶにするカルシウム。 牛乳の約1.4倍もあるんだよ。

スキムミルクをいっぱい飲めば すぐにじょうぶになるの?

毎日つづけて 飲まなきゃだめだよ

じゃあ……

さっそく今日から じょうぶになるうっ♡

やめて〜♡ すぐった〜!

骨や歯を丈夫にするカルシウム。

「スキムミルク」は、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB₂」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。
*児童給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

成分	スキムミルク(22g)	牛乳(200g)
たんぱく質	8.1g	5.8g
脂肪	0.2g	5.8g
カルシウム	286mg	200mg
ビタミンB ₂	0.62mg	0.3mg

TEL03-3591-3245
財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX03-3595-2216

こどもの城ファミリーウィーク 10月27日~11月4日

【こどもの城】の開館記念日(11月1日)をはさんで、10月27日~11月4日(10月29日は休館)は「こどもの城ファミリーウィーク」...

家族で楽しむ遊びがいっぱい

- 親子でアスレチック (10月28日、11月3・4日/午前11時/体育室)
■第8回親子体験ワークショップ (期間中毎日/開館時間中/造形スタジオ)
■キャスルトラベルで行く あそんでめぐる日本の旅 (10月27・28日、11月3・4日)



「チャレンジゲーム」(昨年)

10月31日は「赤ちゃん大集合」

0~1歳6か月までの子どもとその親を対象にした自由な交流の場「赤ちゃんサロン」(毎月2回火曜日=原則)の特別版(3か月~2歳0か月対象)を中心に、親子向けのプログラムを集めた「赤ちゃん大集合」が10月31日に行われます。

「作って演じる人形劇」の講習会終わる 人形を扱うとき「間(ま)」が大切

「作って演じる人形劇」の講習会が、8月19日と9月9日に行われました。19日が「作る」、9日が「演じる」を主題に、児童館・児童センターなどで子どもたちに人形劇を見せる指導員などが多数参加しました。



▲「けこみ」を使って、できたての人形を操演。

佳子さん(人形劇・木ぐつ木の)。さっそく、人形劇のステージ(けこみ)を使って、その場で考えたストーリーを1~数人で演じて「お披露目」をしました。

平成14年度「幼児グループ」会員募集中

保育研究開発部では、平成14年度の「幼児グループ」のメンバーを募集しています。幼児グループは、「こどもの城」を保育の場として、週4日(火~金曜日、午前10時~午後2時)...

こどもの城となかまたち 指導者対象ワークショップも開催

「さぬきこどもの国」(香川県)のわくわく児童館「こども劇場」で、9月16日に「動くこどもの城」プログラム『竹の響き アンクルン・コンサート』が行われました。



▲竹のハンドベル「アンクルン」で大合奏

インドネシアの曲をはじめ、オリジナル曲や子どもたちがよく知っているアニメの主題曲などを演奏しました。会場の子どもの体験コーナーでは、一人一つずつアンクルンを持ってステージに上がりました。

掘った「いも」使って料理 親子三代健康づくり

家族で楽しむ「親子三代健康づくり 自然ふれあいキャンプ~収穫・食欲の秋を感じよう」が、11家族(大人19人、子ども14人)が参加して9月15・16日に佐倉草ぶえの丘キャンプ場(千葉県)で行われました。



ファミリー プレイタイム 家族のための「遊びのワークショップ」

ファミリープレイタイム「つくってあそぼう~紙ひこうき大会」が、9月24日の午後、プレイホールで開催されました。かんたんに作れる「いかひこうき」と、ちょっと難しい「へそひこうき」の2種類の折り図を用意...

お知らせ [こどもの城]4階のビデオライブラリーは、空調設備の工事のために、11月12日~22日はお休みさせていただきます。

こどもの城

【開館時間】(月曜日は休館) 土・日曜日・祝日...10:00~17:30 平日...12:30~17:30 【入館料】こども(3歳以上18歳未満)...400円 おとな...500円

10月以降の「ファミリープレイタイム」は、下記のとおりです(予定)。 10月21日=新聞紙であそぼう 特別な遊びの道具を使わずとも、新聞紙があれば親子でいろいろな遊びが楽しめます。

Entertainment Education Academy KIDS SCHOOL Singing Dancing Playing In English

インフォメーション INFORMATION 青山劇場

青山円形劇場 10・11月のスタジオの催し(こどもの城4階) 10月21日 手作り楽器のワークショップ『フィルムケースの笛』